

# きらきら通信

ホンダ山陰中央(株)発行  
VOL.42



スタックのイタオン  
VEZEL をご紹介しませう。

雪上・荒地でまるでドライ路面を走るような感覚。  
安心かつストレスフリーな走り、坂道もらくらく走る車です。

## おすすめポイント①

コンパクトSUVなのに  
フラットな荷室でたくさんの  
荷物が積めます。



## おすすめポイント④

後席充電用USBジャックで、  
前席と合わせて最大4台のスマホ  
やタブレット等が充電出来るので、  
長距離でも全員が快適に過ごせます。



## おすすめポイント②

ハンズフリーアクセスパーテールゲートで  
開け閉めがらくらく。足をかざすだけで  
オープン。ボタンを押せばクローズも自動。  
開ける時に手を挟む心配なく安心安全の



## おすすめポイント⑤

左右独立温度コントロール式  
フルオートコンディショナーで  
運転席・助手席でエアコンをそれぞれ  
調整でき、喧嘩になりません。



## おすすめポイント③

寒い冬には欠かせない  
シートヒーターとステアリングヒーター。  
雪下ろしで冷えた体と手、  
両方を温めてくれます。



## おすすめポイント⑥

雨滴検知式フロントワイパーで、  
雨が降っても調整いらず(雨を  
検知して自動で作動・速度調整を  
行うので)、運転に集中出来ます。



迷ったら!!  
シンプルが一番!  
パールが魅力的



プラチナホワイトパール

ダークな大人っぽさにも  
少し個性が欲しい!



メテオロイトグレーメタリック

今風なお洒落なカーで  
お乗りをアピールしたい!



サンドカキパール&ブラック  
(2トーンカラー)



# なにかは出られない今だから... 車の映画を楽しもう!!

痛快なカーアクションや手に汗握るカーチェイス。  
車の映画の見どころです。  
車が登場するおもしろ映画は世界中にたくさんありますが、  
今回はその中からおススメの作品をご紹介します!

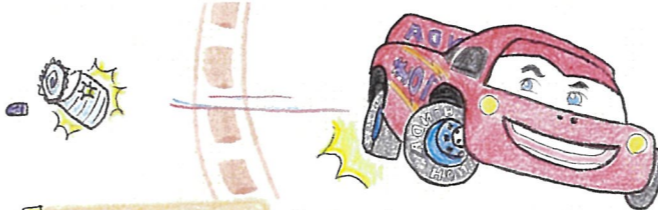


## 『激突!』(1971)

若きスピルバーグ監督の長編デビュー作。  
うっかり走り越したトラックにどこまでも追いつけられるシンプルストーリーですが、演出が素晴らしく、  
誰にでも起こりうる恐怖を説得力抜群に描いています。古い作品ですが、今観てもかなり新鮮!  
昨今のあおり運転のドラレコ映像を彷彿とさせる恐怖を味わいたいあなたにおススメです。

## 『カーズ』(2006)

天才レーサーである車のライトニング・マックウィーンは、勝利しか頭にない身勝手な性格。そんな彼が  
寂れた町、ラジエター・スプリングスに迷い込む。彼はその町で、サリーなど個性的な住民たちと触れ合い、  
人生には、レースでトップになることよりも大事なことがあると学んでいきます。  
おろ様とご一緒に観るのにオススメです。



## 『007 スパクター』(2015)

007シリーズはどの作品もカーチェイスシーンが洗練されていますが、ダニエル・クレイグ版はよりスマートさを感じさせる作品に仕上がっています。派手なだけじゃなくカーアクションではない余裕さを感じさせるハンドリングはスパイ映画ならではの、もちろんシリーズの作品としての素晴らしさは言うまでもありません。



## 『ベビー・ドライバー』(2017)

事故の後遺症で耳鳴りに悩まされている主人公ベビーは犯罪者の逃亡を助ける逃がし屋。  
常にお気に入りの音楽が入ったiPodが手離せません。音楽に乗って運転することで天才的な  
テクニックを発揮するベビーのカーチェイスシーンは必見のカッコよさ!! 特に冒頭のシーン何度見てもおもしろい!  
アクションと音楽の両方を楽しめる作品です。



## 【番外編〜ショートムービー〜】

Hondaが昨年11月にスマホ用動画アプリ『Road Movies+』をリリース!  
1~4秒の映像を撮影し、フィルターと音楽を選択するだけで12秒または24秒のオリジナル動画が  
作れるそう。興味のある方は使ってみては?!

